



洞爺湖かるたの 絵札を作成

虻田高校2年生

永井悠貴さん



「自分で作ったものが、社会に出てうれしいけど恥ずかしい。」
町民から公募した読み句で、地元高校生が絵を描いたまさに

地域から生まれた洞爺湖かるた。洞爺湖温泉の活性化を願い、長年洞爺湖温泉旅館組合女性部が企画を温めてきた、「洞爺湖かるた」の絵札の原画とデザインを担当しました。

洞爺湖の魅力をかたるというなじみやすいもので、発信しようと考えた同部会から白羽の矢が立ち、製作に関ることになりました。

小さいころからマンガを書くことが好きで、アニメファンということもあり、全体的に女の子のオリジナルキャラクターがふんだんに取込まれていて、絵札だけでも楽しめます。

「はじめはイメージが出てこなく、トータルイメージをつかむのが大変。バランスや動きがある絵にしたかった」と3カ月に及んだ創作過程を振り返ります。

やりとげた今は、(温泉生まれながら)自分の故郷をあらためて発見する場面もあり、絵の勉強にもなっておもしろかった」と貴重な体験に感謝しています。

温泉誕生100年の記念切手限定販売

洞爺湖温泉誕生100年を記念して、郵便局株式会社北海道支社が、「洞爺湖温泉誕生100年」記念のオリジナルフレーム切手を販売しました。

洞爺湖周辺の景色のほか「ほつとや」のイラスト、ご当地ヒーロートウヤマンなど10種類のデザインで2700シート限定。

7月26日には、洞爺湖温泉郵便局の健康之局長と虻田郵便局の池田芳春局長が役場を訪れ、

真屋町長に同切手フレームを寄贈しました。
1シート(80円切手10枚) 1

200円で各郵便局で取り扱っています。



真屋町長に記念切手フレームを渡す
虻田・温泉郵便局の両局長

第57回札幌とうや湖会総会開く

6月26日札幌のホテルで第57回札幌とうや湖会の総会が開かれ、会員一人ひとりが旧交を温めあい、お互いの健康を気遣いました。

今年は、岡村元町長、長崎前町長、真屋町長と3代の町長がそろって出席する貴重な会となり、



岡村元町長(右端)、真屋町長(中央)、長崎前町長(左端)の3人が揃った札幌とうや湖会総会

またとないスリーショットに驚きの声が上がっていました。

今月のワンイベント



洞爺湖周辺のレイクサイドカフェ・ジャリブ、レークヒル・ファーム、ホリデーマーケットトーヤ3店共同で行ったキャンドルナイト

東奔西走

イベントの夏がやってきました。この時期は週末になると大きなイベントが続きます。汗だくで動き回っていますが、一向にやせる気配がみえません。先日脳CT検査を受ける機会があり、その時顔の厚みがありすぎて、顔にかぶせる器具がはまらず、別の検出器で行ったという恥ずかしい体験をしました。いつもこういう一瞬だけダイエットが頭の中をよぎります...。(H・O)